

平成16(2004)年度熊野町「まち」の予算

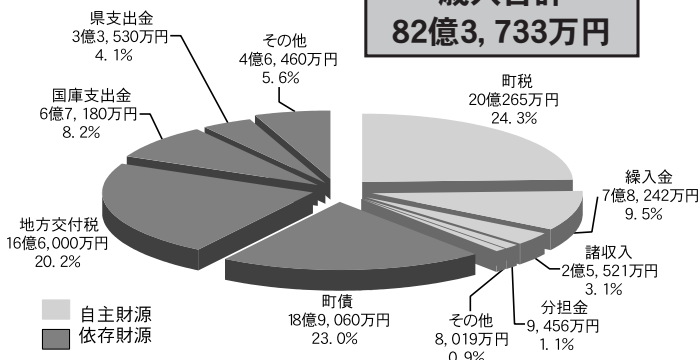
平成16年度の予算が、3月の町議会で議決されました。一般会計は、82億3千733万円、前年度の予算に対して、9億8千480万円の増額になりました。また、国民健康保険事業等の特別会計や上水道事業の公営企業会計の予算額は下の表のとおりとなっています。

歳入予算について

歳入の主なものである町税は4年ぶりに増加し、20億265万円となりました。また、不足した財源を補うものとして、臨時財政対策債などの町債の借入や、国や県の補助金制度の活用、使用料及び手数料の見直し等を検討し、歳入の財源確保を行いました。

平成16年度には平成7、8年度に借入を行った町債(減税補てん債)の借換えが4億9千250万円あり、これを除く歳入は77億4千483万円となり平成15年度当初予算に比べ4千923万円、6.7%の増額となっています。

歳入合計 82億3,733万円



会計名	予算額	対前年度比
一般会計	82億3,732万8千円	13.6%
国民健康保険事業特別会計	22億8,975万4千円	3.2%
老人保健医療特別会計	21億1,962万6千円	△1.2%
公共下水道事業特別会計	13億2,860万1千円	11.5%
介護保険特別会計	12億6,697万9千円	3.8%
上水道事業会計	5億6,756万8千円	8.9%

歳出予算について

総務費

中溝コミュニティセンター建設費用や平成15年度に各施設に設置したインターネットが利用できる端末の運用経費、町内の治安維持を高める防犯パトロール事業などを予算化しています。

民生費

東部地域健康センターを建設するための用地取得費用、法改正により児童手当支給対象年齢を小学校就学前から小学3年までに引き上げて支給するための費用を計上しています。

また、子育て支援の充実を図るため、南県営住宅跡地に多機能保育所の建設を計画し、平成16年度においては宅地造成費を計上しています。

介護保険関連事業で保険料の賦課・徴収を行い、要介護者への福祉用具給付及び住宅改修にかかる費用

平成16年度の主な事業

- ◆ 総務費 ◆
 - ・ デジタルミュージアム事業 3千600万円
- ◆ 民生費 ◆
 - ・ 児童手当支給事業 1億2千560万円
 - ・ 子育て支援拠点施設整備事業 1億1千340万円
- ・ 地域健康センター整備事業 1千900万円
- ◆ 衛生費 ◆
 - ・ 老人保健事業 3千622万円
 - ・ 生きがい対応型デイサービス事業 494万円
 - ・ 環境センター跡地整備事業 5億518万円
- ◆ 農林水産業費 ◆
 - ・ 土地改良事業 ……
 - ・ 県営溜池改修事業 2千100万円